

政策シート

(政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
(予算費目名) 中央卸売市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	685,028	592,391				
決算	662,071					
人件費(A)	73,600	74,400				
報酬(B)	367	357				
年間経費(予算又は決算+A+B)	736,038	667,148				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する		目標 実績	策定 内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の改正		目標 実績	改正 改正					
市場の再整備等あり方検討		目標 実績		課題整理	基本構想	民活導入	民活導入	民活導入

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営及び施設の整備を行う。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給する拠点として、整備計画に基づき駐車場補装改修工事及び受変電設備改修工事を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	中央卸売市場事業				○	667,148	592,391	7.0	4.0	1.0	3.0	357
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						667,148	592,391	7.0	4.0	1.0	3.0	357

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 中央卸売市場事業

◇事業目的・事業対象

市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。

◇事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守及び業務条例の改正により円滑な市場の管理運営を行う。
開設後42年目を迎える市場施設は、老朽化が進むとともに流通の多様化や生鮮食料品の安全・安心に対する社会的な要請への対応が求められているため、令和3年度の施設再整備基本構想策定に向け、その前段階として市場関係者の意向把握や市場施設の立地、適正規模、有すべき機能及び民間活力の導入など検討していく。また、「市場経営展望」の中で示した計画や方向性は引き継ぎ財政計画を加えることにより、総務省から求められている中長期的経営の基本計画「経営戦略」として策定していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例	—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	685,028	592,391				
	決算	662,071					
	国・県支出						
	市債						
	その他	255,161	235,530				
	一般財源	406,910	356,861				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)		367	357				
人件費 (千円)		73,600	74,400				
人工	正規	7.0	7.0				
	再任用(h31)	3.0	4.0				
	再任用(h26)	1.0	1.0				
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0	3.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困	○ 2c	⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	協議、調整	経営戦略策定	経営戦略策定				
実績値	協議、調整	内部調整					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
卸売市場法改正による業務条例の改正							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	協議、調整	条例改正					
実績値	協議、調整	改正					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市場の再整備等あり方検討							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			課題整理	基本構想	民活導入	民活導入	民活導入
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営の実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により市場の円滑な管理運営を行った。
また、市場関係者へのヒアリングや意見交換、調整を行い、業務条例改正を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進める。
- ・市場運営の効率化や施設の再整備について課題整理や市場関係者との調整を行う。
- ・全国中央卸売市場協会と連携を図り、情報収集に努める。

政策シート

(政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
 (予算費目名) と畜場・市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標**
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	339,746	352,000				
決算	317,342					
人件費(A)	42,200	38,000				
報酬(B)	304	21				
年間経費(予算又は決算+A+B)	359,846	390,021				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市場取扱高(千円)	千円	目標	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5,000,000
		実績	5173075					
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現した。	
課題 生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	と畜場・市場事業				○	390,021	352,000	4.0	2.0		1.0	21
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						390,021	352,000	4.0	2.0		1.0	21

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) と畜場・市場事業

◇事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇事業の概要

総務費
【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。
【せり】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。
【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。
【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。
 公債費 設備投資による借り入れの返済
 予備費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S28	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例	—		○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	339,746	352,000				
	決算	317,342					
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,088	4,823				
	一般財源	152,563	144,475				
一般会計繰入金		159,691	202,702				
人件費(報酬等) (千円)		304	21				
人件費 (千円)		42,200	38,000				
人工	正規	5.0	4.0				
	再任用(h31)	2.0	2.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 2c	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市場による公平・公正な食肉の価格形成を確保することにより、継続的に安定した食料を供給する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市場取扱高(千円)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
実績値	5,266,197	5,173,075					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

総務費
【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。
【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。
【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。
【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝えるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。
 公債費 設備投資による借り入れの返済
 予備費

・事業の成果と課題

指標の達成度
 計画通り

総務費
【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。
【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。
【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。
【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝えるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。

課題
 生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

日常の設備点検と老朽化対策修繕を実施したため、操業に影響する障害が発生することなくと畜場及び市場業務を運営することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設設備の保守を継続して行っていく。より安全・安心な食肉の供給拠点としてその機能を果たすべく、老朽化対策工事を進めていく。